

## 活動報告

団体名	学校法人 日本福祉大学災害ボランティアセンター
活動名	熊本地震における被災地支援活動
活動期間	2016年4月～2016年9月
活動の成果	<p>日本福祉大学災害ボランティアセンターは、4月の地震直後から復興支援の拠点となってきた「にしはらたんぽぽハウス」(障害者自立支援センター)を拠点として、8月23日～9月4日(移動日含む)まで、学生12人と教職員3人が熊本県西原村の復興を手助けする活動を行いました。</p> <p>活動を通して、被災後4ヵ月が過ぎても残る瓦礫の除去、屋根のブルーシート張り、農業復興など、災害ボランティアセンターだけでは対応しきれないニーズに対して、にしはらたんぽぽハウスのボランティアとして対応する事ができました。</p> <p>さらに、にしはらたんぽぽハウスが続けている復興支援ボランティアや被災児童向けの食堂を手伝うことにより、復興の推進を間接的に手助けすることができました。災害ボランティアセンターの運営を支援できたことも、間接的な復興支援になりました。</p> <p>また、多忙を極めるにしはらたんぽぽハウスの職員の方々では手が回らない、倉庫屋根のブルーシート張り、崩落の危険のある施設裏斜面を雨から守るブルーシート張り、竹藪刈りなどを行い、施設運営の持続性を保つ手助けができました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>私たち日本福祉大学災害ボランティアセンターは、東日本大震災の被災地支援活動を行った際にも、何度も赤い羽根共同募金の助成金をいただきました。そのおかげで、福島県で避難生活をしている子どもたちを大学のある地域に招く保養キャンプ、岩手県や宮城県での被災地での様々な支援活動などを行うことができました。</p> <p>今回の熊本地震被災地支援活動も、共同募金に多くの方々から寄せられたご寄付の一部を助成金としていただくことができたので、夏休みに被災地での支援活動を行うことができました。</p> <p>大学から遠隔地にある被災地で学生が活動するためには、高額になる交通費などの負担が壁になりますが、共同募金の助成金に助けられ、多くの学生が被災した方々に寄り添う支援が行えます。皆様が寄付に込めた被災した方々を助けたいというお気持ちを被災地に届けるつもりで活動してきました。感謝申し上げます。</p>

(活動のようす)

